

「できる人ができることを行う」～活動を見直し、広く理解されることで動き出す P T A ～

キーワード

多様な働き方・暮らし方 / 教師・保護者の負担軽減 / P T A ホームページ / デジタル技術活用

取組概要

共働き世帯が増える中、P T A 活動への負担感を軽減し多くの P T A 会員が P T A 活動に対して理解し、積極的に関わることができるようデジタル技術を活用した組織運営を行っている。

取組みの詳細

① P T A ホームページの開設

共働き世帯が増えるなど保護者の生活の変化から、以前のように集まって年数回の広報誌を作成することが負担となっていた。コロナ禍での活動自粛もあり P T A 活動を知らない保護者や P T A は不要なのでは？という保護者が増えてきた。



P T A 活動について広く知って理解してもらうためにも、広報活動は必要不可欠であると考え、P T A 独自のホームページを制作、令和6年11月より運用を開始した。ホームページ内のブログを利用し、素早い情報共有を行っている。

② 電子アンケートの実施

紙でのアンケートは1枚1枚、人の目での確認や集計が必要であり、児童数の多い学校では役員の大きな負担となっていた。



令和4年度後半より、“Google フォーム”を利用した電子アンケートを導入。活動部会の意思決定をするアンケートや、駐車場利用希望、サポートボランティア募集や行事・講演会後の意見・感想収集目的でのアンケートなど様々な場面で電子アンケートを利用。総会の書面決議を行ったり研修会の感想や P T A 活動への意を収集したりすることが、気軽に行えるようになった。

③ ウェブベルマーク

児童数急増のため、回収したベルマークの置き場所や集計作業場所の確保が困難となった。また平日の集計・発送作業に何度も学校に集まることが難しい保護者が増加した。



『ウェブベルマーク』へ移行した。ネットショッピングのついでに好きなタイミングで協力できるため、来校の難しい保護者にも協力していただくことができています。

成果

広報誌・おたよりの作成やアンケートの集計作業の負担が大きく減少し、P T A 活動に積極的に参加していない保護者にも、活動の様子を知らせる機会が増えた。

総務会に対する意見・質問へのやり取りも活発になり、P T A 活動に対する理解・関心が増した。

課題や今後の取組み

ホームページの認知度がさらに上がるよう、保護者にとって必要な情報を集め内容を工夫する。

P T A 活動について理解を深め、この活動なら参加できそう・してみたいという保護者の増加を目指すと同時に、地域との連携をより強固にするためにホームページを使いながら P R する。

その他の取組み紹介

<地域協働・連携>

地域のみまもり隊と一緒に登下校の見守り活動

「旗当番」を実施。

学校運営協議会と連携し、川上小の保護者・地域の有志で結成された「川上地域ボランティア」と協力し、学校行事や学習活動・環境整備等の支援。

<学びに関する活動>

P T A 教育講演会の開催

市 P 連・県 P 連で行われた講演会の

情報共有等。



所在地

広島県東広島市

全校生徒数

823名

地域の特徴

東広島市の北西部に位置し、自動車・電気関係を中心とした関連の工業地が混在し、多くの農地が、昨今は住宅地となり人口も増えつつある。

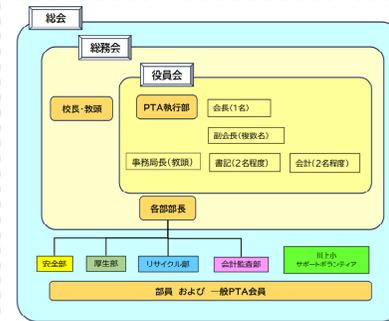
学校の特徴



児童数 823名、学級数30学級
(特別支援学級6学級を含む)

教職員数 74名の、大規模校である。令和5年度に150周年を迎え、古き良き伝統を受け継ぎ、「自ら学び 共に学び 心豊かで たくましい子」を学校教育目標に、新たな校風を築いている。

組織構成



P T A 執行部を中心に、4つの部会とサポートボランティアで、子ども達の健全な育成に向け活動を行っている。